

(2) *Yayan-u sun-dur*⁽¹⁹⁾
皇帝ノ 福蔭ニ於テ

(3) *aryun ügä manu*
アルダン 令旨(言葉)-我等ノ

即ち漢字で書かれた聖旨・令旨例へば鼠兒年(至元十三年)安西王令旨碑に、

長生天氣力裏。

皇帝福蔭裏。

皇子安西王令旨。

と見えるが如きとすべて同一である。即ちかゝる蒙古語は支那に對してのみ用ゐられたのではなくして、何れに對しても普通に用ゐた形であることを知り得ると共に、この漢文は全く蒙古語の忠實なる直譯に外ならぬことを認め得られる次第である。そうして蒙古でかゝる語を合汗即ち皇帝の詔の冒頭に置いたことは、世祖が漢地に君臨するより遙に以前からの事で、太宗時代に蒙古に使した彭大雅の黑韃事略に、「其常談。必曰托着長生天底氣力。皇帝底福蔭」と見え、同じ時代にまた蒙古に入つた徐霆が同書に加へた疏にも、蒙古では金銀牌等の上に回回字を鐫りつけたことを記し、そうして其の文字の意味は「亦不出於長生天底氣力等語」と記して居る。西紀一二四六年定宗貴由合汗が羅馬法王インノセント四世に送つた書翰は、近年ブチカンの古文書館から發見され、ペリオ教授によつて發表されたが、其の文書に捺した印文の初めにも、蒙古語をウイグル字で書いて、こゝに見たのと全く同一の文句、即ち *mongka t(ä)ngri-yin kücündür* (長生天氣力裏) と記され、またこの書翰の前書にも、同じことをウ